

宇都宮市立陽西中学校

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
学習意欲を高め、学力向上を目指した指導の充実	<p>一人一授業の実施や職員研修の充実を図り、教員一人一人が日々、授業力の向上に努めている。</p> <p>基礎学力の定着を図るため、帰りの会終了後の10分間を「陽西タイム」とし、国・数・英3教科のドリル学習を本年度も継続実施している。</p> <p>水曜日の放課後は、「レベルアップ学習」として1時間程度、希望者に対する「学習する場」の提供も本年度も継続している。</p> <p>夏季休業中は7日間の「学習サポート」を実施し、1教科で複数コースの設定をするなど生徒の学力に配慮し指導に当たった。</p> <p>希望者を対象に、地域協議会と学校の共催で月に2回程度「土曜学習サポート」を実施している。</p>	<p>・「授業を集中して受けている」の質問に肯定的に回答した生徒の割合が、3学年で9割以上ある。同じ質問に於ける1・2学年の肯定的回答の割合は約86%と、市の平均より低いものの、落ち着いた授業への取組がうかがえる。</p> <p>・「学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」の質問に肯定的に回答した生徒の割合が全学年とも高く、特に3学年では9割以上あり、市の平均を3ポイント以上上回った。</p> <p>・1・2学年においては、「自分の考えを根拠をあげながら話すことができる」や「ものごとをいろいろな視点や立場から考えている」の質問に肯定的に回答した生徒の割合が高く、市の平均を2ポイント近く上回った。</p> <p>・3学年の学習内容定着度調査の結果を見ると、教科の学習内容によっては、市の平均を上回っていたり、ほぼ同程度の数値まで伸びている領域も見られた。さらに基礎学力の定着・学力の向上を目指して取り組んでいきたい。</p>
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	<p>年度初めに、家庭学習の仕方・「自主学習ノート」の取組についての資料を全生徒に配付し、再度徹底を図った。</p> <p>「自主学習ノート」は、毎日提出を原則とし、担任が最終チェックを行い、その後の指導に生かしている。</p>	<p>・「授業で習ったことを、その日のうちに復習している」の質問に肯定的に回答した生徒の割合は、3学年では54.9%で、市の平均を5ポイント以上上回っているが、1・2学年では、43%程度と低い。</p> <p>・「テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している」の質問に対する肯定的回答の割合が、3学年は76%であったが、1学年では67%と低く、市の平均を10ポイントも下回った。今後も家庭学習の取組が大きな課題となっている。</p>

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・今年度も、前年度の取組にさらに改善を加え、「陽西タイム」、「水曜日放課後のレベルアップ学習」、「夏休みの学習サポート」、「土曜日の学習サポート」と様々な形で、生徒の基礎学力の定着、学力向上のために取り組んできた。国・県・市の結果からも、少しずつではあるが各教科で学力の向上が見られた。来年度もさらに、これらの運営方法を工夫改善し指導を充実させ、一層の学力の向上を目指していきたい。

・小中一貫教育による学習指導の取り組みで、全面的に見直しを行い再編集をした「家庭学習の手引き」を、さらに有効に活用し、家庭学習の徹底を図る。「自主学習ノート」の使用法について、小中で連携して指導する。